

令和 8 年度(2026 年度)事業計画書

令和 8 年度の公益目的事業を下記のとおり計画しました。

一昨年度は研究助成金(30名→35名)の拡充をはかり、昨年度は日本人学生向け海外留学奨学金(5→12名)の指定校拡大を実行しました。

本年度は日本人学生向け奨学金を月額 40→45 万円、外国人留学生奨学金を月額 30→40 万円にそれぞれ増額します。

なお、日本大学と工学院大学については、健全な運営を期待する旨のメッセージもこめ、国からの「私学補助金」の再交付と減額措置解除がされるまで、当会も枠数減の措置をとります

事業計画の詳細は以下のとおりです

1. 日本人学生向け奨学事業

1.1 給与奨学金

- ・ 昨今の物価上昇分を補うべく、奨学金を年額 40→45 万円に増額する
- ・ 昨年度に続き、所得証明書と成績証明書の申請書添付を義務付け、申請内容を照査し、選考委員会にて採否を審議いただく
- ・ 各指定校の枠数を見直し、本年度は添付資料 1 に示すとおりとする(前回見直し 2018 年度)
- ・ 日大と工学院大は、国の私学補助金の再交付と減額措置解除まで、それぞれ枠数を 50%減(12→6)と 25%減(7→5)とする
- ・ 指定 72 大学の 395 名に給付する予定(前年計画 381 名)
- ・ 予算は、5 名程度の辞退者を見込んでおき、390 名分の 175.5 百万円を予算計上する(前年計画 152.4 百万円、23.1 百万円増)

1.2 海外留学奨学金

- ・ 主として「各大学の留学プログラム」での交換留学等、4 か月～1 年の留学を想定
- ・ 研究目的での留学とし(語学留学不可)、留学先は指定大学と提携する大学のある国
- ・ 「併給不可」としており、ある程度の自己資金準備のある学生への支援を想定
- ・ 渡航費一律一括 20 万円、奨学金 15 万円/月は現地滞在期間を対象に給付とする
- ・ 指定大学は「文科省・(旧)スーパーグローバル大学トップ型大学」12 校(添付資料 1)
- ・ 予算は 12 名全員が 1 年滞在するとして 24 百万円を計上する(前年計画と同額)

1.3 貸与奨学金()内数字は前年度実績見込み

- ・ 2011 年度から新規募集を停止しており、現在は貸与奨学金の返還のみ
- ・ 令和 8 年度期首における返還者数は 153 名(203 名)、残額 46.6 百万円(69 百万円)。年度内返還金額を 15.9 百万円(22.3 百万円)と予測している
- ・ 長期滞納者 4 名については、弁護士と法的な措置なども講じ、前年度までに全件解決済

2. 外国人留学生向け奨学事業

2.1 給与奨学金

- ・ 奨学金を年額 30→40 万円に増額する。留学生の生活ぶりは日本人奨学生と同等であるが、親元からの経済的支援は総じて日本人奨学生のそれよりも厚いことから、日本人奨学金と 10%程度の差を設けて 40 万円とする
- ・ 昨年度に続き、親世帯ならびに本人収入の申請書記入、成績証明書添付を義務付け、申請内容を照査し、選考委員会にて採否を審議いただく
- ・ 当会の「私費留学生」の条件を撤廃する、但し併給する他奨学金の総額が 180 万円(国費

留学奨学金の年間支給額とほぼ同等)を超えないことを条件とする。

- ・ 令和 6 年 7 月 19 日付文科省連絡文書にて、次の理由により国費留学奨学金は他奨学金と併給可と制度改正された。当会の趣意とも合致するので文科省の考えに則ることにする。「これまで、複数の奨学金を獲得しうる能力の高い留学生在が、他のより条件の良い奨学金を選択し、結果として日本への留学を見送るケースも生じていたことから、併給を一定の範囲内で認め、他の奨学金も活用しながら日本への留学を選択する優秀な留学生在が増えることを期待するものです」
- ・ 各指定校の枠数を見直し、本年度は添付資料 1 に示すとおりとする。各校 1 か 2 枠だったがこれを 1 から 4 枠とし、各大学に所属する理系外国人留學生数を目安に枠数調整した。
- ・ 所属理系留學生が 50 人以下の大分大と兵庫県立大は 0 枠とした
- ・ 日本大学と工学院大学は、国の私学補助金の不交付・減額措置が解除されるまで、それぞれ枠数を 50%減(2→1)と 25%減(1→0.75 繰上げて 1)とする
- ・ 指定 66 大学の外国人留學生 84 名(前年計画 80 名)に 40 万円/人を一括給付する予定
- ・ 予算 33.6 百万円を計上する。(前年計画 24 百万円、9.6 百万円増)

3 奨学生・留學生・大学担当部門との面談・交流

3.1 指定大学訪問

- ・ 当会設立当初より「互いの顔が見える、心に残る奨学会(物心両面)」を目指し、奨学生・留學生ならびに大学担当部と対面にて交流する
- ・ 定款第 4 条で事業目的と定める「奨学生への指導・助言」はこの機に為すよう努める
- ・ 本年度も秋季に指定 72 大学を訪問し面談を実施する。予算 1.8 百万円を計上する

4 研究助成金事業

- ・ 「萌芽的基礎研究テーマ」で科学技術の振興に寄与する若手教員(40 才迄)への研究助成。選考委員により推薦者全員の研究計画を評価いただき、選考委員会にて審議のうえ助成金贈呈者を決定している
- ・ 指定 70 大学を 2 グループに分け毎年交互に各大学 2 名まで推薦者を受付けている。本年度の採択数は 30~35 名とし(前年計画同数)、採択実数は選考委員会の審議により、評価に適う数を決定する。
- ・ 研究助成金贈呈式・懇親会は 9/4 (金)東京ステーションホテルで開催予定(前年同様)
- ・ 今年度贈呈額は 200 万円/人に据え置き、研究助成金 70 百万円と贈呈式費 2.5 百万円を予算計上する(前年同額)
- ・ 贈呈対象が教職員にあたること、贈呈金が大学への寄付行為にあたること等から、日大と工学院大は国の「私学補助金不交付・減額措置」が解除されるまで、募集停止を継続する
- ・ 佐賀大学と大分大学は 3 期 6 年推薦がなかった。令和 8 年度から当会指定大学から除く旨を書面にて通知し、再開依頼の申し出が無い限り、以降は募集要項を送付しない

5 資産運用、その他

- ・ 事業基金積立資産に 1 億円程度の債券を積増し、その運用益を事業の拡充に使用する
- ・ 昨今の物価上昇を鑑み、世間一般動向を参考にして職員の給与ベースアップを実施する

以上

添付資料 1:「奨学金および研究助成金の指定大学一覧(2026 年度)」

【添付資料1】公益財団法人 日揮・実吉奨学会「奨学金および研究助成金の指定大学一覧(2026年度)」(*印は本年度変更)

	大学名	日本人		留学生 給与 (人数)	研究助成金	
		給与 (人数)	留学		奇数年	偶数年
01	北海道	9→12*	○	2		○
02	東北	9→15*	○	2→3*	○	
03	東京	11→16*	○	2→4*	○	
04	京都	11→14*	○	2→3*		○
05	大阪	11→14*	○	2		○
06	九州	11→13*	○	2→3*		○
07	東京科学	10→15*	○	2→3*	○	
08	横浜国立	6		1		○
09	岩手	3→2*		1	○	
10	千葉	7		2→1*		○
11	新潟	4		1	○	
12	金沢	4		1		○
13	名古屋	9→12*	○	2	○	
14	神戸	7		1	○	
15	岡山	5→6*		1	○	
16	広島	5	○	1		○
17	徳島	4		1	○	
18	長崎	2→3*		1	○	
19	熊本	4		1	○	
20	宮崎	3		1	○	
21	鳥取	4		1	-	
22	秋田	2		1		○
23	山形	5		1		○
24	群馬	3		1	○	

	大学名	日本人		留学生 給与 (人数)	研究助成金	
		給与 (人数)	留学		奇数年	偶数年
25	福井	3→2*		1	○	
26	静岡	7→5*		1	○	
27	山梨	3		1	○	
28	名古屋工業	5		1		○
29	山口	4		1	○	
30	九州工業	5		1	○	
31	室蘭工業	3		1		○
32	東京都立	5→4*		1		○
34	早稲田	11	○	2		○
35	慶應義塾	9	○	1		○
36	芝浦工業	9		1		○
37	東京電機	9→6*		1	○	
38	日本	6*		1	停止	
39	中央	4		1		○
40	学習院	1→2*		-		○
41	東京理科	11→12*		1→2*	○	
42	千葉工業	9→6*		1		○
43	成蹊	1		-		○
45	鹿児島	5		1	○	
47	東京都市	4		1		○
48	上智	2		1	○	
49	関東学院	3→2*		1	○	
50	信州	7		1		○
52	埼玉	4		1		○

	大学名	日本人		留学生 給与 (人数)	研究助成金	
		給与 (人数)	留学		奇数年	偶数年
53	富山	3		1	○	
54	琉球	3		1	○	
55	茨城	4		1		○
56	東京農工	5		1	○	
57	岐阜	4		1	○	
58	愛媛	4		1	○	
59	北見工業	2		1	○	
60	宇都宮	2		1	○	
62	佐賀	3		1		指定外*
63	大分	1		1→0*		指定外*
64	兵庫県立	3		1→0*		○
65	豊橋技術科学	2		1		○
66	長岡技術科学	2		1		○
67	筑波	7→8*	○	2		○
68	工学院	7→5*		1		○
69	東海	11→8*		1		○
70	電気通信	4		1		○
71	立命館	8		2		○
72	日本女子	1		-		○
73	東京海洋	3→2*		1	○	
74	明治	9→8*		1	○	
75	同志社	5		1	○	
76	お茶の水女子	1		-	○	
77	大阪公立	8→6*		1		○

* 日本人向け奨学金	給与 395(*)名/ 72大学	留学 12名/12大学
* 留学生向け奨学金	給与 84(*)名/ 66(*)大学	
* 研究助成金	贈呈 30~35名/ 34(*)大学	

【大学欠番コード】 No33(大市大→No77), No.44(九芸工→No6), No.46(武蔵工→No. 47), No. 51(大府大→No77), No. 61(三重)